

令和2年6月1日

第529号

横浜市立日吉台小学校

玉置 恭美

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

ひよびだい

おかえりなさい 日吉台小学校へ

校長 玉置 恭美

長かった臨時休校期間が終わり、分散登校による学校再開を迎えました。担任の先生たちも、まずは、半分ずつですが、クラスの児童の顔を見ながら授業をしたり、お話をしたりすることができるのを心待ちにしていました。いつ授業が始まってもよいように、授業計画を練ったり、ワークシートを作成したりして、子どもたちが視聴したのと同じ動画配信を見ながら、学習内容を共有していました。保護者の皆様には、ご家庭での、学習や健康維持のための取組にご協力いただき、本当にありがとうございました。子どもたちが学校に戻ってきたときにきれいに咲いているようにと、花壇の手入れに来ていただいた花ボランティアの皆様、課題配付日に、交通の要所に立って子どもたちの安全を見守ってくださった保護者の皆様、感謝いたします。



休校中、折に触れて子どもたちの成長を感じました。しばらく見ないうちに、たくましく、しっかりしてきた子どもたちが学校に戻って、それぞれの役割を果たしながら、さらに大きく成長してくれることでしょう。

さあ、これから、学校という集団生活の中で、仲間と協働して学びを深める日々が始まります。例年なら、1年生も学校内の設備や特別教室などを覚え、中休みなどの遊びのルールも理解して、主体的に活動しているところです。短い時間でも集中して、中身の濃い授業を目指し、「学校での勉強が楽しい」と思えるような授業を進めます。

6月は、4、5月の学習内容はもとより、3月に学習できなかった内容から取り組み始めます。年間の指導計画を変更しながら、無理なく学習できるよう、横浜市全体が学校生活を進めていきます。例年とは学校行事や校外学習の予定が大きく変更となりますが、子どもたちの思い出や、学びが豊かになるよう、教職員全員で取り組んでいきます。

新しい生活習慣の中で始まる令和2年度の学校生活です。水飲み場で密にならないよう、足元にラインが引かれたり、しるしがつけられたりしています。トイレ、手洗い場の使い方や、教室での話し合いの方法も変更し、担任が指導して感染症対策をとっていきます。心配や不安はみんな同じです。相談したり、深呼吸をして心を落ち着けたりしながら、前進してゆける日吉台小学校でありたいと思っています。

変更やお知らせは、これまで通り、メール配信や学校ホームページでお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

